

529ヘクタールの水源の森からのホットな情報発信 第64号 2008年9月

やどりき水源林ニュース

発行 (社)かながわ森林づくり公社県民運動課

編集 かながわ森林インストラクターの会

〒258-0021 足柄上郡開成町吉田島2489-2

☎0465-85-1900

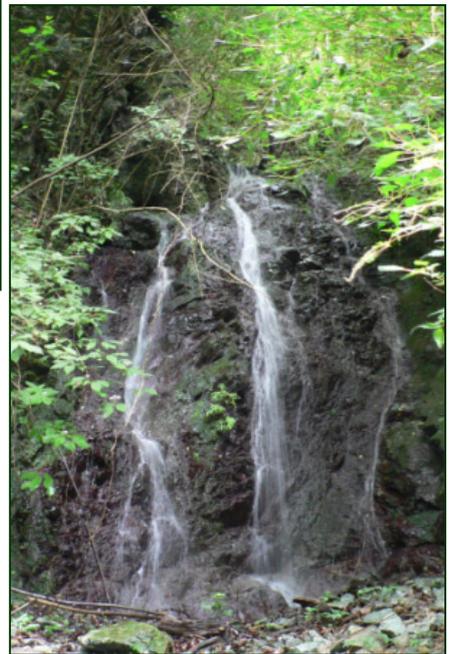
URL: http://www.ny.airnet.ne.jp/k_sinrin

定例観察会のお知らせ

毎週土曜・日曜および祝日に「かながわ森林インストラクターの会」会員が水源林をご案内します。午後1時まで、やどりき水源林ゲート前までお越しください。なお、冬季(12月下旬・1月・2月)は安全確保のため休止します。

水源林の秋

暑さが厳しかった夏も終わり水源林に秋が訪れました。晩夏の記録的な雷雨は丹沢でも降り、水源林の林道脇に珍しい滝がお目見えしました。



溪畔を彩る花々

コボタンツル(左中)

クサギ(左下)

タマアジサイ(右下)

クサギは星型の赤いガクの真ん中に果実をつけ、晩秋を美しく彩ります。



いろいろな果実

秋の楽しみの一つに果実が熟れることがあります。まだ少し早いけれど、色々な果実を紹介します。それぞれに子孫を残すための工夫があります。



ウワミズザクラ 甘くて鳥の大好物です



ミツバアケビ 紫色になって熟れると割れます



クリ 熟れるとイガが割れます



イロハモミジ 風で種子を飛ばします



コクサギ 熟れるとはじけて種子を飛ばします



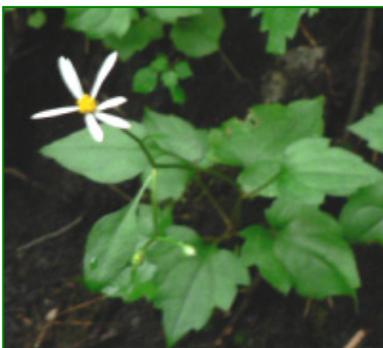
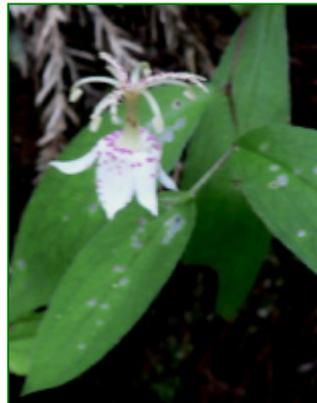
キビン 黄褐色に熟れ水分があります

秋の花

この時期、種類は少ないですが秋の花が楽しめます。花の形の美しさに心を奪われます。



キハギ(左)
ヤマホトギス(中)
ツリフネソウ(右)
タテヤマギク(左下)



フォッサマグナ要素の植物

地質学用語で「大きな溝」を意味するフォッサマグナは糸魚川～静岡構造線の東側の地溝帯に名づけられたものです。その地溝帯の南半分の地域（丹沢、箱根、富士、伊豆が中心）に限られた植物が見られます。それをフォッサマグナ要素の植物といいます。やどりき水源林では、夏から秋にかけて、ヒトツバシヨウマ、タテヤマギク、イワシャジンなどが確認されています。



イワシャジン



ヒトツバシヨウマ

9月のトピックス

はぎ おぼなくずばなでしこ をみなへし ふぢばかまあきがほ
秋の花尾花葛花瞿麦の花女郎花また藤袴朝貌の花

山上 憶良(万葉集巻八)

秋の七草はハギ・オバナ(ススキ)・クズ・ナデシコ・オミナエシ・フジバカマ・キキョウです。春の食べる七草に対し秋は見て楽しむ七草です。水源林では、ハギ・オバナ・クズが咲いています。

10月の水源林

樹木の果実が熟れて色鮮やかになります。イロハモミジやカツラなどの葉が色づきます。

10月18日(土)『水源林のつどい』が『第2回森のリレーフェスタ～第61回全国植樹祭2010 かながわ～』と同時開催されます。(詳細は県のたより9月号をご覧ください)